

第10回大村湾一周ウルトラマラソン

(2006年2月10日～2月11日)

ゼッケンNo. 54 山猫@さすらいランナー

【はじめに】

1年前の懇親会で呼び掛け人の佐藤さんから「来年10回目をもって、この大村湾一周ウルトラマラソンは終わりにさせて貰いたい。この大会の大部分は長崎なので、大会継続可能なら長崎の方に引き継いで欲しい」と話があった。あれから1年、参加を迷ったが、Webにたくさんの知り合いが申し込まれており、私自身も最後の大会への思い入れが強く、1月初めに申し込んだ。今回はこがみちゃんやもりけんさんも一緒なので心強い。夜行バスは1ヶ月前に申し込んだが、1日目でほぼ満席に近く、年々埋まるのが早くなっているようだ。

【九州へ】

仕事を定時で切り上げ、早々に荷物を持って会社を退社する。いつものことながら、バッグを肩に掛け、駅に向かって歩く足取りは重い。大阪には19時前に着き、地下鉄梅田駅ホームでもりけんさんを待つ。合流後、難波で和民を探すが見当たらない。一軒、目の前に和民があるが、去年行ったのは違う店とばかり思っていたので、それが頭にあってウロウロする。結果的には目の前にあった「和民」が予約しておいた南海駅前店だった。もりけんさんには悪いことをしてしまった。

19時半過ぎにやなちゃんも来られ、3人で飲み始める。こがみちゃんの姿が現れないが、どうしてだろうか？。結局こがみちゃんは20時45分頃に合流され、再度乾杯する。こがみちゃんからはいいちこ入りのチョコレートをプレゼントされる。れんこんポテトが香ばしく、美味しかった。21時半過ぎに和民を出て、難波バスターミナルに向かう。バスターミナルではお馴染みの顔々がある。キョウダイさん、たまごんさん、関西ウルトラ界の重鎮であるN西さん、H賀さん、F見さん、O野さん、O村さんにN村さん、H口君、顔は知っていたが、名前は初めてのA井さんの姿もあった。やなちゃんの見送りを受けて22時に西肥バスに乗り込む。席は4Bで両足が広がられるので助かった。ビデオで洋画が流れ、終わるまで消灯しないと言われたので、私はヘッドホーンで演歌を聞いていたが、結局ビデオが終わった23時20分までカーテン閉めも消灯もなく眠れずに困った。その間、バスは中国自動車道の神戸JCTから山陽道に入って行くのが見えた。車内は暑くて暑くて汗をかいたが、しばらくして眠ったと思う。いつものことながら、膝が痛み出した。痺れるような痛みだ。足を延ばしたり、手で膝をさすったりして痛みを押さえる。右膝だけが痛んだ。バスがパーキングで休憩する毎に目が覚めるが、走り始めると眠った。朝6時前に佐賀のパーキングで15分ほどトイレ休憩があった。今年は時間の余裕があったからだろう。再び15分ほどバスに揺られると6時半頃に「武雄温泉駅」に到着。まだ真っ暗だ。



タクシーが待っていたのでキョウダイさん、たまごんさん、こがみちゃん、もりけんさんの5人で嬉野温泉に向かう。後の方々はバスで行かれた。約30分で嬉野温泉着。「ジョイフル」でいつも通り朝食を食べる。店内には弟の兄さんの従兄弟、慎ちゃんとHASEさんの姿もあったので挨拶する。たまごんさんはいろいろなアイテムを持って走られるので有名だが、簡単なビデオ機能のあるデジカメの写真を披露して下さった。たまごんさん曰く「いっぱい見て楽しめて、いっぱい人と会えるマラニックほど贅沢はない」と、私も同感である。日常の生活が小っぼけなものに思えてならない。朝食を終え、旅館「松園」に向かう。この時、雨がポツリポツリ落ちて来た。松園の大広間に



入ると数人の参加者が走る準備をされていた。岡山のS島さんの姿もあった。奥さんは今、走れないとのこと。S島さんの奥さんとは初参加の2003年は前後して走り、一部区間は世間を話しながら歩いたこともあった。とりあえず温泉に浸かって旅の疲れを取る。



受付では1年振りに呼び掛け人

の佐藤さんにお会いできた。本当に良い大会をやっているが、今年で最後ということが残念でならない。今日は曇っているがそんなに寒く感じないのでランパンで臨むことにした。シューズはウルトラシマントLSR、テープは持って来たが、ハサミを忘れたので足のマメ対策のテーピングは施さなかった。ウルトラシマントはマメができにくいので大丈夫だろう。大広間には横ちゃんや弟の兄さん、ちっち&さり~♪のF井さんご夫婦の姿もあった。30分くらい前に玄関に出ると東京のOむらさんらしい方の姿があったので声を掛ける。おOむらさんご本人だった。都会の方という印象で1月も凄い距離走ったと自身のHPに書かれていた。また茨城の牛久鉄人倶楽部 Mr サロマさんからも声を掛けて頂いた。2004年甲州夢街道の竜王付近でほんの少しだけお話した程度だが、覚えて下さって嬉しい限りだ。ゼッケンには59歳と書かれていたがとてもお若い。今回は10時スタート組が、半数くらいを占めていたと思う。参加者も過去最高なので玄関がいっぱいだ。路草

コース組も多いとか。昨年、博多から走って来られ、そのまま大村湾を走られた福岡のT中さんや走るウルトラ飲兵衛、E口さんがスタッフされていたので挨拶する。



【大村湾一周ウルトラマラソン】

■【嬉野温泉・旅館「松園」玄関前<スタート>】(10:00)

今年も全員で写真撮影後、10時に旅館『松園』玄関前をスタートする。松園を出て、すぐ角を左へ曲がる。観光ホテル「大正屋」の前を通ると大きなリムジンが置いてあった。真っ直ぐに進むと国道34号線に突き当たり、そこを左折する。こがみちゃん、もりけんさんとゆっくり進む。今年は飛び出す人もいず、集団で進むことになった。JAのある2.5km付近で国道から右に逸れて集落内に入る。すでに徐々にではあるが緩い上りに入っていた。おOむらさん、さり~♪さんが先頭を走られているがペースはゆっくり。三遊亭楽松さんは半袖、ハーフタイツ姿だった。山の斜面に広がる棚田風の茶畑が綺麗だ。嬉野の山々は独特の景観を持っているので、このコントラストは何ともいえない味わいがある。



そこに立ち上る煙が一層冬の情緒を漂わせているように思える。空は今にも雨が降りそうだったが、とうとう小雨が降り始める。写真を撮りながらなので、遅れる度にこがみちゃんやもりけんさんにペースア



アップして追いつくようにした。一部新しく舗装された角に今までは「キリシタン史跡」と思っていたところが、さり〜♪さんが案内板を読まれているのを聞くと史跡ではなく、実は慰霊碑だった。1954年（昭和29年）10月7日に発生した「国鉄バス不動山線遭難事故の慰霊碑」で死者13人のうち半数の6人が10代の若者だったという痛ましい話で当時のバスは乗客が80人も乗っていたそうだ。悲しい話だ。

緩い上りを進んで行くと左折して塩田川橋を渡り、向こう岸に出る。路草コースの人は左折せず真っ直ぐに進まれた。いつもに比べ先頭グループのペースが遅いので後続集団との距離は離れていない。小雨は降り続いていた。こちらは茶畑の中を走る感じだ。ランパンなので冷えて小便を催す。早過ぎるではないか。空は厚い雲に覆われ、天気が心配だ。右脇には「隠れキリシタン太刀洗史跡」の石碑がある。下を走る長崎自動車道を見下ろしたり、茶畑や補助整備されていな



い眺めの良い田園を見ながら進む。くねくねした先から急坂となるが、一部は舗装され広がっていた。国道34号線に合流する手前には「俵坂峠関所跡」の碑がある。ここで迂回は終わり、国道34号線に戻り、道路を横断する。今回は真面目に道路の左側を進む。去年よりペースが遅いので上りも辛くなかった。

■【佐賀／長崎県境・俵坂峠 [標高188m] <9.3km>】(11:04)

県境「俵坂峠」を越えると今度は5.5kmある下りに変わる。ここからは長崎県東彼杵町になる。今までは路肩の広い右側道路脇を走っていたが、今年は「左側通行の遵守をして下さい」とあったのでそれを守った。路肩が狭いので足元を気遣う。快調な走りではないが、こがみちゃんと一緒に走った。もりけんさんはお〇むらさんの後に付かれ、前を快調に下って行かれる。今年は結構車が多いように思われた。できる限り風景を見たかったので茶畑をしっかりと見るようにした。東彼杵（ひがしそのぎ）もお茶で有名だ。走っているこがみちゃんの写真を撮る。しばらく進むと長崎自動車道が先に見えて来た。青い空ならその向こうに見える大村湾が綺麗だが、どんより



しているの見通しが悪い。

歩道が右にあれば右に渡り、ゆったりとしたペースで下って行く。こがみちゃんが「コンビニで何か食べたい」と言い出したが、コンビニは3 kmほど先だ。こがみちゃんがガソリンスタンドのトイレを借りと言ったので先に進んだ。ここからは平坦になる。JAの建物に「ふくよかな味と香り 長崎名産そのぎ茶」というおおきな表示があった。後にたまごんさんの姿が近づいて来た。間もなくして江頭交差点に到着。



■【東彼杵町・江頭交差点<15.8 km>】(11:47)



ここは斜面の茶畑にフェニックス、多くの観光看板と大村湾にきた雰囲気味わえる「江頭」交差点をそのまま直進する。いよいよ大村湾に沿いだ。車は結構多い。たまごんさんと並走すると「下りで飛ばしたので疲れた」と言われていた。

腰にはアイテムがいっぱいぶら下がっていた。一時より、空は明るくなっていた。左頭上を見上げると長崎自動車の高架がそびえ立っている。左手はすぐ急な坂道になっており、日常生活でさえ大変なように感じる。ところどころに「旧長崎街道」の矢印があった。道草コースはここを走られるのだと思う。道端にくじら、そのぎ茶、ゆでピーナツとなんとも奇妙な取り合わせの直売所があった。前方と左側に同じような形をした綺麗な山が見えるが、何という山だろうか？。八反田郷辺りでガソリンスタンドの値段表示を見るとレギュラーが135円と表示されていて、びっくりする。滋賀より1割高い。



たまごんさんも驚かれていた。お〇むらさんに付かれていたもりけんさんは徐々に遅れ始めていた。



セブンイレブン・東彼杵八反田郷店が見えたので立ち寄る。時間も正午だ。照焼ソーセージおむすびと缶ビールを買い、外で食べ始める。照焼ソーセージおむすびは136円が100円だったので得した。たまごんさんともりけんさんも一緒だ。このおむすびは粗挽き胡椒が入っていて美味しかったのもう1個購入。たまごんさんがエビオスを飲まれていたので、私も思い出したように飲む。「小野木さんが良いと言われるんだから、間違いないだろう。アミノバイタルに比べたら格安」と言われ、同感だ。こがみちゃんが追いついて来たので一緒に食

べる。こがみちゃんはちょっと贅
 沢なおむすびを買われたようだ。
 10分あまり休憩後、3人で出発。
 すでにたまごんさんは先に出発さ
 れていた。地図にはこの付近が旧
 長崎街道の千綿宿と書かれていた。
 「千綿駅」前を通過。なかなか感
 じの良い駅だ。裏のホーム横は大
 村湾だ。大村線は大村湾の防波堤
 のすぐ横を走るJR線だ。写真を撮っている間にもりけんさんは先に進まれていた。



少し先にエイドがあった。今年は10時スタート組が多いのでいつもより早くからエイドが設営されて
 いた。先ほど食べたばかりなので、あんパンとコーラを頂いた。踏切の遮断機越しに通って来た大村湾の



海岸線を振り返る。走っていると
 さほど思わないが、結構曲線だ。
 もりけんさんに追いつき、振り向
 くと後ろにこがみちゃんがいた。
 もりけんさんと歩き出しても走ら
 れているこがみちゃんとの距離は
 詰まらない。私だけ少し前に出で、
 たまごんさんに近づく。

■【大村市・JR松原駅前T字路<24.1km>】(12:56)

「松原駅」前交差点を過ぎると右にカーブし、若干上りがある。たまごんさんが「火事は怖いですね」と言われたので右下を見ると1軒丸焼けで骨組みだけ残った焼け跡があった。何とも悲惨な姿だ。目のやり場に困る。右前方に赤い塔が見える。たまごんさんに「空港の管制塔ですか？」と聞かれ、「長崎空港はもっと先じゃないですか」と応えたが、実はすぐ先で、それが管制塔だったようだ。言い加減なことを言ってしまったと反省する。たまごんさんより先に進み、前のF見さんも抜かす。その辺りからペースアップした。徐々に大村市の中心部に近づく。ガソリンスタンドはセルフでもレギュラー134円の表示があった。周りに関係なく、できるだけ自分のペースを維持して進む。一昨年は風が強く砂ぼこりが舞っていた。あの時はこの辺りから、かなりグロッキー気味になっていたが、今年は余裕がある。この辺りから、HASEさんと前後する。



またエイドが見えて来た。今年は数が多いではないか。ドーナツとコーラを頂く。最近、日常生活でも以前ほど水分を摂らないようにしているので汗が少ないのか？。汗の出が少ないと本当に助かる。右折すれば長崎空港に繋がる広い大村インター交差点を通過し、間もなく大村の中心部に進む。救急車がけたたましくサイレンを鳴らして南に走って行った。先ほどの火事とだぶる。左に大村駅の表示があった。

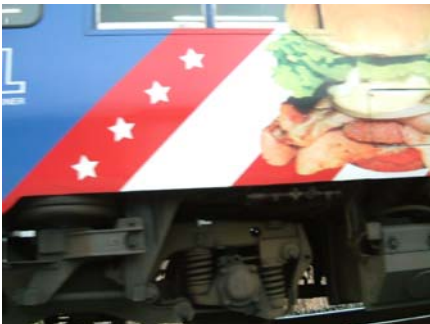
■【JR大村駅口・西本町T字路<32.4km>】(13:54)



この交差点で車の量も多くなって来た。左側歩道を進んでいるが、右側歩道は工事中だった。昨年も工事中だったが、まさか1年も続いていることはないだろうに。ヤマダ電機、ジャスコなどが見え、郊外の区画整備されたところがショッピングゾーンになっているらしい。同じ一角の南側に「大村競艇場」、「大村公園」がある。道端に植えられているフェニックスが映える。フェニックスがあると南国情緒を漂わせるように思える。大村公園には「大村市観光センター」もあった。大村公園内には「大村城跡」があり、春は桜、初夏は花S蒲桜の名所ようだ。桜並木の下に鳥居があり、これが「大村神社」のようだ。この辺りは歩道も広く、綺麗に整備されている。



少し進むと一転、歩道は狭くなり、緩い上りに掛かる。ここで少し歩き始めた。すぐに下りに変わり、また走り出すが、途中でどこかにポケットタオルを置き忘れたので、ファミリーマート・大村久原店でタオルを買う。158円と安い。この先で海が見えたので少し眺める。ここから大村方面は車が渋滞し始めていた。少し疲れてきたので走ったり、歩いたりを繰り返す。大村線を守る電車の写真を撮りたいと何度も狙って進んで来たが、電車は何回も出会うがタイミングが悪く撮れないと思いきや踏切の遮断機が鳴ったので、ここぞとばかりカメラを構えて待つが、被写体が大き過ぎて、一瞬で通り過ぎてしまった。真横過ぎた。その先の「岩松駅」に電車が止まっていたので写真を撮るが派手な方の車両ではなかった。



ここからは少しへばって来たので、鈴田峠までは走ったり、歩いたりを繰り返した。前後がかなりばらけてきた。こがみちゃんに「37km過ぎ通過」とメールすると、「もりけんさんと一緒に岩松駅通過」と返事が返ってきた。約1km後ろのようだ。この先、鈴田峠までは歩きが多くなった。いつもの道幅の広がったパーキングにエイドがあった。チョコレート、お茶、ブラックコーヒーを頂く。少し上ると左側に「長崎成田山 不動長大寺」があった。全国どこにでもある交通安全祈願の成田山だ。少し行ったところが峠でここからは下りに変わる。一昨年は長崎都市対抗駅伝があり、鈴田峠前後で駅伝選手に抜かれたが、左を走っていたので右に渡ることもできず、歩くこともできず、頑張っって走ったのを思い出す。



この峠付近から、やや冷たい風に変わり、空は今にも降り出しそうな気配に変わった。右側の人ひとり通るのがやっとの歩道を進む。この先でバイパスがあるが、コースではないので左側に渡り、本名川沿いに進む。他の2人のランナーは右側歩道をそのまま進んだのでバイパスに入って行くのではないかと案じたが、その先で合流できた。私の頭の中は常に本名川寄りが正しいとインプットされており、私自身もこの3年間通って来たがどっちでも良かったことが解った。HASEさんが前を走られていたのでどこで息が切れるかと思いながらも、何とか歩かずに頑張って走った。諫早駅前に近づいた頃、静岡のT崎さんとほぼ前後して走った。しばらく行くとJRの高架を潜る。その頃から小雨が降り始めた。少し風も出て来たのでランパンでは寒く感じる。この辺りから道路幅が広くなり、大村湾が近づくので右からの風が変わった。右にJRが並走する。中央分離帯に植えられている植物からも南国の雰囲気を感じる。



雨が強くなって来たので屋根のあるところでロングタイツを羽織ることにした。このまま雨が続くのだろうか、心配だ。明るかった長崎方面の空も今は暗くなっていた。「まるみつ」というパチンコ屋の派手な駐車場が見えた。凝った建物だ。長崎自動車道の高架下を潜ってから、右側歩道から左側歩道に移動する。エイドの位置が毎年変わるので今年はどこだろうと探しながら進む。そして、歩き始める。HASEさんが携帯メールを打ちながら歩かれていたので早歩きで抜かして行く



が、走られると抜かされた。非常に綺麗な走りでウルトラタイプには見えなかった。長崎自動車道の高架下から2kmほど進んだ雨風が強くなった頃にエイドがあった。風で置かれているものが飛ばされそう。ワンスープとチョコレートを頂く。温かいワンスープは美味しい。時々走るが概ね歩きになり、左足の疲れが目立ち始めた。この先の高架下までは長く感じた。道路脇にいろいろな人形の置いている店があり、ガラス越しに写真を撮る。

■【長崎多良見インター・市布Y字路<52.8km>】(16:34)

ベンチに座って地図を見ていたところ、地元のランナーに「ウルトラですか。頑張ってください」と声を掛けられた。この一言が嬉しい。歩道のない左側を進む。長崎自動車道の高架を潜ると緩い下りが続く。間もなく目的の麵亭の赤い看板が見え始め、元気が出る。16時45分に和風とんこつラーメンの店「一麵亭」に入る。店内に客は居なかった。一番安い「極ラーメン」を注文。「ニンニクをたくさん入れて欲しい」とお願いすると「スープにたっぷり入っている」と言われてしまった。こがみちゃんにメールすると「ローソン店内にいる」とのこと。約3kmほど後だ。昨年、長崎市内で食べた店は美味しくなかったが、この店は一昨年同様に美味しかった。スープも水もたっぷり口にし、痛み止めのイブAを飲む。



15分後に店を出るとF見さんとばったり出会う。「こがみちゃん、ほったらかして行ったらあかんや

ん」と言われてしまった。やや寒くなって来たので半袖のウルトラシャツを上から重ね着した。これで大丈夫だ。上は2枚共に速乾タイプなので汗や雨で濡れても大丈夫だろう。腹が重いので歩きながら、こがみちゃんやもりけんさんが近づくのを待つ。しばらく歩いているうちに雨がやや強くなり始めたので、屋根のあるところで一休みする。さっき休んだばかりだというのに。地図を眺め、メモを取る。高架が目立つ長崎自動車道が見え始めた。道端に鮮やかな赤色のよだれ掛けを付けたお地蔵様があり、右にある桜の木には枝がお地蔵様に触れな



いよう支えがしてあった。何ともいえないマッチングに思えた。民家の上を走る長崎自動車道の姿が目立つようになって来た。その先は道路の両側に商店が並んでいた。ずっと緩い下りが続いていた。今年は道路の渋滞がほとんどなかった。どうしてだろうか。頻繁に通る路線の長崎県営バスの赤色のボディと広告がマッチして鮮やかに見える。バス停で待っていた女子中学生から「頑張ってください」と声援を受けた。可愛い子が多く、嬉しい反面、少し恥ずかしかった。雨は相変わらず降り続いていた。前に信号が見えたので間もなくエイドがあるだろうと気を付けて進む。

■【長崎市・切通Y字路合流点<60.1km>】(17:49)

一昨年はエイドが左側だったので、左側か、右側かを良く確認しながら進む。一昨年のエイド場所だった車の待避所には何もなかった。右側も一向にエイドらしきものはない。ラーメンを食べたばかりなので、「無かったら無かったで良いわ」と思いながら進む。右側歩道をほとんど歩いている状態だ。後のこがみちゃん、もりけんさんも気になるので日見トンネルまでの上りは歩くことにした。そこそこの雨が降り続き、止むのかどうかわからない状態だ。いつものことながら下から上を見るとファミリーレストランの灯りが綺麗だ。その先で一昨年は左側歩道を進んだため、旧トンネル側の道路から、新トンネル側の道路への横断に車が多くて命拾いした思い出がある。当たり前のことだが、一度経験すると2度と間違わない。ここを過ぎるとすぐに「新日見トンネル」だ。

トンネルに入ると車が渋滞し、ほとんど止まった状態になっていた。長崎ランタン祭りの影響か？。トンネル内の温度はちょうど適温で居心地が良い。諫早まで頑張ったツケがきた感じで、もう走れなくなっていた。こがみちゃんからのメールは頻繁に来るが、差は変わらないようだ。持って来たカイロを肩に貼るタイミングを伺う。1100mある日見トンネルを出るともう真っ暗だ。トンネルの入口と出口は表面がボコボコとなった敷き石だったので歩き辛かった。すぐに2つ目の約300mある「本河内トンネル」内でカイロを右肩に貼ったが、汗で粘着効果がなく、付き難かった。下の長袖シャツに貼ったので上の半袖シャツで押さわるのでそこそこ持つだろう。トンネルを出ると長い下りが待っている。車の渋滞は相変わらずだ。最初は歩いたが、やや回復していたので走り出す。V字型になった長崎の街は山の斜面上の方から下まで街灯りが満遍なく点き、街全体が坂生活という感じだ。街の灯りに何故か温かさを感じる。

だいぶ下って、いよいよ街中に入って来た。スタッフが長崎ランタン祭り会場への案内地図を配られ、「1kmほど先にある中島川を越えて、すぐ左折すれば眼鏡橋に行けます」と会場への足を教えて下さった。これは有り難かった。歩道に並ぶ店の前は人が集まっていて、進み難い。地図を注視しながら、幅の狭い中島川を越えて道路を左折する。するといろいろな形の橋が見えて来た。左に歩道、右に車道と別れて



ていた。この橋群を総称して「中島川石橋群」と呼ぶそうで、日本の石橋文化発祥の地だそうだ。緩いアーチの橋もあれば、ドームのようなアーチの橋もあった。ドームのような橋は階段になっていた。こがみちゃんから何度もメールが届き、だいぶ接近しているようなので「眼鏡橋で待っている」とメールする。ランタンが見え、「眼鏡橋」が見えて来た。人がいっぱいいる。この橋は昭和57年の水害で半壊したが、翌58年には復元された。これら橋群を見て、改めて大村湾に来て良かったと実感する。これは観光だ。ウルトラを走りながら、こんな素

晴らしい祭りを見られるなんて最高だ。



橋の横に掲げられている金魚のランタンの鮮やかなこと。いっぱいランタンが見えて来た。これが「長崎ランラン祭り」か。この祭りは中国色豊かな灯の祭典で長崎在住の華僑の人々が中国の旧正月（春節）を祝うための行事として始めたとのこと。こがみちゃん、もりけんさんがなかなか到着しない。15分くらい待ったが、じっとしているとかなり寒い。時間差の感覚がわかり難い。こがみちゃん、もりけんさんには悪いが、雨が強くなって来たので先に進むことにした。地図を見ながら、中央公園会場に向かう。かなりの人だ。雨が益々強まり、雨宿りしないと辛い状況になって来た。「中央公園会場」のステージでは何やら民族衣装を付け、踊りをされているようだった。出会した楽松さんは「各会場でランタンを見て来た」と言われていた。人混みで前は見えない。周囲にあるランタンを見たが、どれも色鮮やかで素晴らしいものに巡り会えたと感動する。「見ざる、言わざる、聞かざる」の猿のランタンもあったが、現在ご時世を象徴しているかのように思えた。あまりの鮮やかさにもう少し見たい気持ちだが、先を急がないといけないので地図を見ながら、コースに戻る。



■【JR長崎駅前<69.8km>】(19:50)

前に明るく大きな建物が見え、「吉野家」もあったが、どこが長崎駅前かと探しながら進んで行く。通行人に「長崎駅前はどこですか？」と尋ねると「もう過ぎましたよ」と教えて貰った。知らない間に通り過ぎたようだ。この辺りの幅広い道路は車が渋滞し、まともには動いていなかった。ランタン祭り会場から離れていくので歩道の歩行人の数は減っていた。少し進んでから、ウインドブレーカーとヘッドライトを身に付ける。止まっていたので冷えたせいもあるが、少し風も出て寒くなっていた。しかし、湿度が高いため手袋は時々する程度で、それほど必要なかった。また楽松さんが前に現れた。夜になり、さすがに赤の上下ウインドブレーカー姿に変わっていた。

「長崎西洋館」前は雨に濡れた路面が光って、綺麗な写真が撮れた。長崎市内の雨量は多かったようで歩道にも水溜まりができていた。この長崎西洋館正面にはランタンが飾られていた。歩道を歩いている人



を避けるようにして進む。中島川からはほとんど走っていない。右に「平和公園」があった。楽松さんに「平和公園は左側ではないんですか？」と尋ねられ、「右側にも原爆の碑などがありますよ」と応じる。その辺のことに自信はないが。「岩屋橋Y字路」で道路を横断し、この先進みやすいように左側歩道に出る。ここからは国道206号線になる。長崎大学前にエイドがあると聞いていたが、反対側の右側歩道を見ると車が見え、準備を始められたばかりだったので、左側歩道をそのまま進む。この辺りから走ったり、歩いたりをまた繰り返し始めた。

すぐにまた道路を横断し、右側歩道を進んだ。ホテルらしき建物のイルミネーションが綺麗だった。オレンジ色の鮮やかなパチンコ店が目に入る。長崎はランタンイメージの派手なパチンコ店が多いのも、中国の影響なのか。「赤迫3丁目」のY字路を越えてすぐの付近に「マクドナルド」があったので立ち寄り、お決まりの「テリヤキマックバーガー」を買って食べる。店内の椅子に座って食べるのは気持ち良い。冷たい水も喉を潤してくれた。外は小雨が相変わらず、降り続いていた。この先のY字路で2年前、道を間違ってしまったので、その場所を確認しながら進む。確かにそのまま左へ道なりに行ってしまいそうな場所だった。あの時は「とりあえず左、左」を意識し過ぎていたと振り返る。店がなくなると歩道から人影は消え、街灯も暗くなって来た。ここからは緩く長い下りが続くので走れた。下りも終わった頃になると明るい時津の街になる。カラオケや食べ処、ラーメン屋、天然温泉などの灯りが眩しい。この頃には雨は上がっていた。



左カーブに差し掛かり、その先が時津橋(79.5km)だ。21時31分に通過。ランタン祭り観光したにも関わらず、一昨年より5分早かった。その先に「一麺亭」「麺王」といったラーメン屋があるが、間もなくレストなので寄ることはない。「マルキュウ・時津店」があったので立ち寄り。ヨーグルトとアミノサプリを買う。ペットボトルは全て88円均一と安かった。空を眺めると雲が少し切れ始め、夜は寒くなりそうな予感がした。歩道は狭くなり、街灯も一気に暗くなり始めた。間もなく「火籠り集会所」がある。佐藤さんとT中さんが立って誘導して下さった。ここは長崎側から来るとわかり難い気がする。

■【時津町・火籠り集会所(レスト) <82.6km>】(22:01)

中に入ってもやや寒く感じる。12時スタートのK間さんの姿があった。ランタン祭りには寄られなかったようだ。温泉湯豆腐、お粥、うどんを頂いた。O橋(北海道)の名札を付けられていたのが縞猫@北海道さんの奥さんだったので挨拶し、タラさんからの伝言を台所で準備されていた方に伝える。本名を言えば「タラさんならわかるけど、本名はわからない」と言われてしまった。こがみちゃんにメールすると30分くらいで到着しそうな返事が返ってきた。がつつくも一緒とのこと。12時スタートのI坂さん、キョウダイさんも到着された。キョウダイさんは「ランタン祭りを見て来たが、商店街は凄い人だった」と話されていた。一旦、座り込んでポォ～するとなかなか立てない。22時35分頃にこがみちゃん、もりけんさん、がつつく到着。こがみちゃんは相当疲れた様子で顔に精気がなかった。「先に行ってごめん」と謝る。温かいコーヒーも頂いた。そのうちに食べ過ぎたのか、胃がもたれて苦しいのでタイミングが悪いと思いつつも、ガスター20と胃薬を飲む。22時50分に携帯のメール音が鳴り、ふきこさんから激励のメールが届いた。ちょうど休憩している時でグッドタイミングだったので、すぐさま返事ができた。有り難いことだ。別室を覗くとかなりの人がマッサージ待ちをされていた。こがみちゃん達もマッサージをして貰われるみたいだ。1時間12分休んで、23時13分に出発する。

外の寒いところで出迎えされていた佐藤さん、T中さんに御礼を言って出発する。ほんの少し進んだと

ころで先ほど食べた物を吐いた。胃が張って苦しかったが、これで楽になった。集会所を出ると大村湾沿いなので、やや寒く感じ始めた。ここからは街灯も少なく暗い。今年は満月に近い月明かりでいくらか見やすい分、助かる。足元には十分気を付けながら進む。またどこかでハンドタオルを置き忘れてしまったのでファミリーマート・琴海ニュータウン前店で購入した。本当に忘れがひどくて困ったもんだ。

■【琴海町・西海川T字路<87. 1km>】(23:45)

西海川を渡って右折する。右に大村湾が見えると月明かりで海上に浮かぶ島々の姿がはっきりと映り、真夜中という感じがしない。コンビニがあっても、今年はエイドが多いのでパスした。西海川T字路を過ぎてからは走れるようになっていた。寒いので走りも入れないと辛い。空を眺めると星の見える数が少ない。雲もだいぶ残っているが、月明かりのせいかもしれない。そのようなことを考えながら進む。「戸根川」沿いになってからは海岸線と分かれて進むことになる。時折、冷たい風が吹くこともあった。風が舞っている感じだ。「戸根橋」を渡った先にバス停があった。ここは私のチェックポイントの中でわかりにくいところのひとつだが、バス停の表示を見れば良くわかった。この辺りは店が多いが、夜中なので静まり返っていた。

レストで次のエイドは琴海パーキングと聞いたが、どこが琴海パーキングかわからない。ようやくローソン前にエイドが見えた。E口さん達のエイドで「ずっと立っているので走っている人より寒くてたまらない」と言われていた。ごもつともな話だが、我々には有り難い。チキンラーメン、温かいアップルティーを頂き、一休み。左の太股裏の調子が今ひとつなので痛み止めのイブAを飲む。ネイチャーラン、スパルタスロン優勝経験者で熊本のS本明子さんと男性2人がエイドに到着。S本さんは「故障中なので14時スタートし、無理しないで走っている」と話されていた。このエイドにはビールが置いてあったので、ひとりの男性はビールを一気に飲んで、また3人一緒に走って行かれた。

右は「形上湾」沿いに変わった。この辺りは左側からの冷たい風に悩まされた。風のあるところとないところが極端だ。少し眠たくなって来た。左側歩道を歩いていると凄い勢いで走って来られる方がいた。寒さ除けにカップを着られていたが、そのスピードはフルマラソンのような感じだった。昨年のダブルさんの走りより速いと感じた。懇親会で縞猫@北海道さんから長崎のS蒲さんという方だと聞いた。結果、昨年のダブルさんの記録を1時間も上回る15時間21分だったとのこと。凄いタイムだ。郵便局前にまたエイドがあったので塩ラーメン、ホットレモンティー、チョコレートを頂く。「つい先ほど、凄いスピードで走れている方が寄られませんでしたか？」と聞くと「見なかったですよ」とエイドの方は言われたので、S蒲さんはエイドには寄られなかったようだ。

■【琴海町・大江T字路<98. 5km>】(01:41)

歩道の水溜まりを避けながら進む。この辺りも結構な雨が降ったみたいだ。「大江川」手前を左へ道なりに進む。ここからはアップダウンがあった。前半は上りでその後は下っていた。上りは歩きに徹し、下りは走った。1時55分「西海市」入る。その表示を写真に撮るとわかりやすい。今年はまだ極端な睡魔が襲ってきてはいなかった。ハウス栽培の灯りが時々見え始めた。とても明るい。「長崎バイオパーク」入口表示を過ぎるとオランダ村は近い。この辺りは結構走れた。月の明かりで夜中とはいえ、辺りの景色は良くわかる。この辺りからだろうか、トイレに行く回数がやたら多くなり、10分から15分に1回は催した。汗が出なくなった分、下にきたという感じだ。これは明らかに脱水だ。仕方ない。



左に「生長の家・住吉本宮」の大鳥居がそびえ立っていた。写真が撮れるのではないかと思えるくらい明るく感じた。しかし、静かだ。オランダ村付近は歩道もタイルで広く、良く整備されている。右に「オランダ村」が見えて来た。暗いのでよくわからないが、施設は昨年に比べて少なくなっているように思えた。建物の取り外しが進んでいるのかもしれない。一昨年は見えた中央のオレンジ色の時計も今年は見えなくなっていた。一昨年は明々と2時を示していたが、見えなくなると寂しい気がする。一昨年より35分遅い。

オランダ村を過ぎると上りがあり、その後は下っていた。またエイドが見えて来た。これだけ設置して

下さると寒い中、本当に有り難い限りだ。チキンラーメンとホット紅茶を頂いた。寒いのでエネルギー補給にはラーメンが有り難い。特にスープを飲むと喉に優しく、元気が貰える気がする。月明かりで、右にいけす料理の「桂木荘」、左には「カキ」販売の看板が見える。昨年が懐かしい。

■【西彼町・大串交差点<109.4km>】(03:30)

また右手に大村湾が見え始めた。風が冷たく、耳が痛いくらいだ。これなら毛糸の帽子を持って来るんだってと反省する。この先、右は海岸線が続いた。眠気でもう走れない状態になっていた。歩道があるところで急激な眠気を催す。歩きながら寝ていた。歩道の端にある柵に身体が当たった。びっくりする。危ない、危ない。うつろうつろしながら進むと歩道で犬が死んでいる姿に遭遇し、びっくりする。車に跳ねられてから、そんなに時間は経っていないと思う。可哀想に。

右を見ると大村湾に浮かぶ島々の姿がまた見えて来た。月明かりは良いもんだ。もう少し行くと西海橋への右折地点「小迎Y字路」だ。急に車が止まり、「いつスタートされたのですか？、何キロですか？」とスーツを着た男性グループから質問を受けた。「昨朝10時スタートで160kmです」と応えると「頑張って下さい」と言ってその車は立ち去ったが、疲れている最中の一声は嬉しいものだ。そのすぐ先は道路幅が急に広がっていた。そして、大きな道路標示が出ていた。エイドは西海橋手前か、渡ってからとばかり思っていたので道路を横断し、右側に渡ると反対側歩道から「エイドはこちらですよ」と声を掛けられた。「コース間違いがここであったので、エイドを設置した」と話されていた。野菜スープと温かいコーヒーを頂く。皆さん、このエイドはわかり難いようだ。この先の道路は歩道も広がっていた。この右折からは国道202号線となる。



この辺りから風が強くなり始めた。車も少しずつ多くなり始めていた。一昨年より車は多い。時間的に50分遅い影響か。西海橋を目指し、上っては下り、また上る形になる。この辺りもハウス栽培が目についた。ひとつ目の下りに土産物屋があり、この先が西海橋かと勘違いし易いところだ。4時53分「佐世保市」に入る。2つ目の下りで右に人気のない南側の「西海橋公園」が見えた。時たま左からの強い風に見舞われた。いよいよ赤色の「西海橋」を渡ることになる。全長316m、ここは日本3大急潮

のひとつで海面からの高さは43メートルもある。風がもの凄く強く、路肩には寄れなかった。左路肩から1m以上離れ、帽子を押さえ、飛ばないようにして走った。車も多く、300m余りでも長く感じた。左の向こうには昨年同様、まだ新しい橋が建設中だった。ようやく渡り終えたところに北側の「西海橋公園」がある。



■【佐世保市・西海橋北側T字路<117.4km>】(05:00)

西海橋が寒かったので、また温かい物を食べたくなった。ディリーヤマザキ・西海橋店でおでんを買う。本当は厚揚げを食べたかったが、なかったので竹輪を注文した。店前で風に当たりながら食べていると毛糸の帽子を被った縞猫@北海道さんらしい人が走って行かれた。ただはっきりと確認できなかったので声は掛けなかった。竹輪は口中でカサカサして食べ難い。やっぱりラン中は厚揚げに限る。5時を回り、車の数は増える一方だった。概ね、長い上りの後に長い下りがある。右に城の形をした民宿、左に昨年見た変な柱状の突起物、おそらく煙突だと思うが3本ははっきりと確認できた。上っているのだから歩き続ける。眠気もかなりひどくなっていた。右側歩道を歩いているとまたガードレールに接触する。これで2回目ではないか、気を付けないと。何もない暗闇の中だが、月明かりがある分、助かる。「味覚亭」を過ぎるとやや急な下りに変わったので走り出す。この辺りは何もないが、ようやく自販機が見つかったので温かいコーヒーを飲んで目を覚ますようにした。真正面に見える月の下に輝くばかりの大きな星が見えた。夜明けの明星「金星」のようだ。あまりにも鮮やかなオレンジ色をしていた。ハウステンボスも見え始め、また下りになって少し元気が出始めた。歩道がなく、道路脇の狭い下りを進むとコンビニが見えて来た。

一昨年に間違っって右折してしまった「江上町T字路」にはエイドがあった。みのむしさんのエイドだ。

ここではお粥をご馳走になった。私が寒いと言うとみのむしさんは「今日は気温が高い」と応えられた。疲れているので寒く感じるのだろうか？。このエイドには日本酒、焼酎、ウイスキーなどが並んでいた。隣には熊本のS井さんの姿があった。参加されていたのだ。昨年の甲州夢街道では上野原から都内まで前後して走ったので、すぐにわかった。弱視の方なのでいつも白い杖を持って走られるが、歩道のないところなど大丈夫なのだろうか？。一旦、平坦になったが、また下りに変わった。6時半になり、車の数は増すばかり。

「指方町T字路」にようやく到着。ここで右折して、国道205号線をハウステンボス方面に向かう。左には「佐々浦」が見える。空を見上げると相変わらず、金星が明るく光っていた。本当に綺麗だ。真正面には「ハウステンボス」のホテル群が目映い。少しずつ明るくなり始めていた。ここは走ったり、歩いたりを繰り返した。「針尾橋」を渡り、右折するとレストランが見える。一昨年は誤ってハウステンボスの中に入り、一瞬怒濤に迷ったが、アップダウンもきつく距離も長い分、疲労も大きかった。正規コースは1km少し短いだけだが、体感的にはだいぶ違うように感じた。

■【佐世保市・ハウステンボス駅前<127.9km>】(06:55)

一旦上った後、下ると平坦に変わった。関西より日の出は30分くらい遅いようだ。7時を回ってもまだ少し暗い。車は更に多くなり始めていた。狭い歩道を進むのが辛い。この後、真正面には長く急な上り坂が待ち構えていた。ここは歩道がないので注意しないとイケない。上りで左側から、右側に渡って歩いているうちに急激な眠気が起こった。朝の眠気は我慢できないことが多い。脇に入るアスファルトの道があったので少し入ったところで大の字になって寝る。下は冷たいが、目を瞑って5分ほど休む。またコースに戻ると右の道路脇には手入れされた木々の姿があった。上りは終わり、今度は急な下りに変わったので、休んだことだし、走り始める。この先、川棚までに確か2回ほどアップダウンがあるはずだ。

ようやく空は青みを帯び、昨日とうって変わった快晴の1日の始まりに思えた。7時40分「川棚町」に入る。過去2回の佐世保回りの時、満席で食べることができなかった鮮やかな濃いオレンジ色のラーメン店「博多麺王」脇を通過する。目に付く色だ。真下に見える「小串郷駅」付近は上りが続き、その後は下りに変わった。車が多いので道路を渡って写真が撮れない。大村湾は波もなく静かだ。ちょうど逆光で写真を撮るにも限られた。再び上り下りが終わると川棚の中心部に入り、「川棚川」を渡る。この辺りにエイドがあった。長く食べていなかったもので、温かい物が欲しくなっていた。椅子に腰を降ろしてカップそばを頂く。喉も渴いたので水も頂いた。もうこの先にはエイドがないとのこと。ということは関所跡にもないようだ。御礼を言って出発すると高校



生の姿を多く目撃した。

■【JR川棚駅前<136.8km>】(08:33)

川棚駅前を通過。今日は良い天気になりそうだ。しかし、冷たい風が少しあり、疲れた身体にはより以上に寒く感じる。3年間変わらない姿の工事が進まないまま放置された東芝セラミックス工場の途切れた高架橋が目に入る。右に大村湾、その横にJR大村線と並行状態の中を進む。日差しが強く、顔が焼けそうだ。走り歩きの交互に入れて進む。眠気もなくなり、後わずかだと思うと元気になってきた。影に入ると一気に身体が冷える。こんなに違うものか。歩いているとデイパックに付けた名札を見て、後から接近された広島M上さんから「ふじもっちゃんの掲示板に書かれている方ですね。私も見ているんですよ」と言われた。名札効果だが、世間は狭いと感じる。いつもエイドがあった場所を通り過ぎる。静かな大村湾の海面が綺麗だ。対面には佐世保米海軍基地やハウステンボスが見える。この辺りでウインドブレーカーを脱ぐと下は2枚重ねながら、やっぱり寒く感じた。

コンビニのR I C・にしむた店に寄り、最後の頑張りのため、栄養ドリンクを買った。ここのレシートを後で見ると1日前日付だった。後で確認すると道理でおかしいと思った。前を進まれるM上さんの姿が徐々に小さくなって行っ



た。真正面から朝日を浴びて進む。走り、歩きを繰り返していたが、江頭が近くなってからは元気が出て、また走り始める。右に道の駅が見えて来た。道端に置かれた花も良いものだと写真を撮る。綺麗に整備された「ひさご塚古墳」も見える。全長58.8m、後円部直径37.7mの長崎県下を代表する前方後円墳とのこと。右側歩道で両手で杖をついた方が歩かれていたので「大丈夫ですか？」と尋ねると「ゴールまで歩くのは無理なのでバスに乗ります」と言われていた。しかし、とても歩けるような状態ではなかった。

■【東彼杵町・江頭交差点<144.1km>】(09:43)

ここで左折するとようやくあと11kmだ。「江頭交差点」まで戻って来ると安心する。大村湾一周の中でここは大きな安らぎを与えてくれる場所と言っても良い。大村湾上空は真っ青な空になっていた。国道34号線の100m毎の表示を見ながら、500m走って、500m歩くことにした。これは毎年同じだ。これによって坂が苦しくなくなる。500mほど行ったところにあるガソリンスタンドでトイレを借りた。出て行ってから、ハンドタオルを忘れたと思って戻るが、実際はデイパックの中にあった。自分の記憶がどんどんなくなって困る。ここからは上りに入る。歩き、走りと表示を見ながら刻んで上って行



く。O村さんが快調に抜かして行かれた。「最初は路草コース、途中からオフィシャルコースを進んだ」と話されていた。全然歩かれる気配がない。さすがだ。

振り返って大村湾を見ると静かで真っ青な空が蘇っていた。長崎自動車道の先にある大村湾の姿をうっかり写真に撮り損ねてしまった。上を見上げると真っ青な空に春が近いと感じる棚田の風景が、下を見下ろすと水田や茶畑が広がった農村風景は素晴らしい。相変わらず、500m毎に走り歩きを繰り返すが、間もなくが峠になるかと思うと歩かずに走り続けられた。峠手前は道路工事で右側車線のための片側規制となっていた。影に入ると相変わらず風は冷たい。この先の平坦になったところが「俵坂峠」だ。これで8回目の俵坂峠になる。時間は10時46分。これで12時までにはゴールできる。

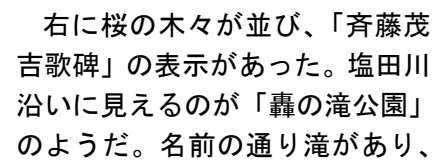
この先は長い下りが続く。路肩が極端に狭いので気を付けながら左端を走る。最初は路面が荒く走り難いが徐々に路面は良くなっていく。青、赤文字、緑の「嬉野温泉」の看板が目につく。真正面の深い緑の



中に濃い茶色が存在する山斜面、その下にある茶畑群の色彩観は素晴らしいのひとつと言だ。「俵坂関所跡」の看板を見、また走って下って行く。下りでもさすがに疲れが出始めた。左手の低い山々、点在する家々、少し下ると補助整備された水田に変わっていた。嬉野の山々は形がバラバラで個性があり、その個性ある山と茶畑群がマッチした安らぎの地に思えてならない。



上の方に岩が見える山がある。遠くから見ていると何でもない山が近くで見ると様相を一変させて見せてくれるから、山は良いものだ。下り切ると昨日、右に折れたY字路がある。この先に「長崎街道」の案内板があり、横には「うれしの茶」と書かれた大きな大きな茶壺の形をしたバス停がある。カップルがここで写真を撮っていた。私も写真を撮る。その間に男女2名と東京の辻本さんに抜かされた。辻本さんの身体は傾き加減だった。もうゴールまで2km弱なので皆さん急がれている。私も走り出す。



右に桜の木々が並び、「斉藤茂吉歌碑」の表示があった。塩田川沿いに見えるのが「轟の滝公園」のようだ。名前の通り滝があり、平坦にしては珍しい大規模な滝のようだ。木々の手入れからして綺麗な公園のようだ。歩道のない国道34号線で右折すると昨日通った商店街に入る。ここを真っ直ぐに進む。もう少しだ。大正屋から大きなリムジンが出て来た。この角を右に曲がったところがゴールだ。ふと





道端を見ると「長崎街道嬉野湯宿・西構口跡」の石碑があり、そこから湯だと思いが出ていた。飲みたかったが、中年のご婦人がそこをなかなか動かなかったのでそのまま通過。そして右に曲がると「松園」が見え、ゴールできた。時間は11時29分だった。



■【旅館「松園」玄関前<ゴール><155.5km>】(11:29)

【走り終えて】

ゴールではT中さん、佐藤さんが迎えて下さった。昨日とは一変の素晴らしい天気だ。とりあえず身体が冷えているので温泉に浸かりたい。嬉野温泉は日本三大美肌の湯と呼ばれるが、これは源泉100%という条件付きだ。各地に温泉は多いが、源泉100%の温泉というにはどれくらいの割合だろうか？。以外と少ないのかもしれない。源泉が最低70~80℃ないと源泉100%にはならないのだろうか。身体の汚れを落とし、湯に浸かって、疲れを癒した。走る前に温泉に浸かり、夜通しで観光マラニックして、終わるとまた温泉に浸かれるこの贅沢、こんなに時間を有効に活用できることは幸せそのものだ。

そろそろ、こがみちゃん達もゴールする頃だろうと外に出て、大正屋の曲がり角まで歩いて行くと赤のウェアのこがみちゃんがもの凄い勢いで走って来た。一緒に戻ろうとしたが、あまりの元気について行けなかった。12時46分にこがみちゃん、笑顔でゴール。「俵坂峠からはキロ6分ペースで走れた」と言われていたが、昨日前半のあまりのゆっくりした走りは何だったのだろうか？。路草コースを終始走られたH口君、A井さんもゴール。アップダウンはあったが、面白かったそうだ。12時58分にもりけんさんも元気にゴール。13時17分、青のチャイナドレス姿で明石のタコ嬢さんゴール。羽織るタイミングを



伺っていたそうだ。とても似合う。がつつくんは13時35分にゴール、足を痛められた模様だ。大丈夫か？。

その後、「宗庵よこ長」で家にする温泉湯豆腐を予約する。「元祖温泉湯豆腐の店」であり、店内の席はいっぱいだった。こがみちゃん、もりけんさん、がつつくんの4人で「ジョイフル」へ食事に行く。生ビールにつまみで口を潤し、道中談義に花が咲いた。すぐ横には縞猫@北海道さんご夫婦も食事されていた。



再び松園に戻り、17時の懇親会まで時間をつぶす。懇親会は大広間で行われ、こがみちゃん、もりけんさん、がつつくん、キョウダイさんと一緒に座る。今年はお膳に温泉湯豆腐はなかったのが残念だったが、いつものことながら盛り上がる懇親会だ。最初に佐藤さんから「今回でもって大村湾一周ウルトラマラソンは終わります。ありがとうございました。来年からは佐賀酒蔵巡りマラニックを行います」という挨拶があり、この10年間のご苦労、献身的な運営に対して「お疲れ様でした」という大きな拍手が起こった。宴会が始まると昨年同様に寝ていない分、一気に眠気がきてしまった。何とか持ちこたえようと頑張る。縞猫@北海道さんは地元嬉野のお酒を一升瓶で注ぎに回られ、私にもコップ酒を注いで下さったが、甘くて美味しいお酒だった。そのうち、コックリコックリきてしまい、壁に持たれて寝てしまっていた。その時だった。抽選で「ゼッケン54」と呼ばれ、こがみちゃんから「抽選、当たりましたよ」と言われ、眠たい目を擦って前に歩くが、半分寝ている状態で“ランニングシャツ、パンツ上下”を頂いてしまった。ぼお~としていて申し訳なかったと思っている。もう限界だったので宴会の最中で申し訳なかったが、休憩室に戻り、横になった。全く昨年と同じパターンだ。



スタッフの方に21時半頃に車で武雄温泉まで送って頂き、22時11分の武雄温泉発、大阪行きの夜行バスに乗り、帰路につく。バスは途中、大阪手前で1回トイレ休憩があった。難波の湊町バスターミナルには6時30分頃に到着。OCATは店が開いておらず、JR大阪駅構内で慌ててモーニングを食べて、JRに乗り込むが、通勤時間帯で人の出入りが激しく、落ち着かなかった。その後、家に一旦戻ってから会社には9時半に出勤、普通に仕事できた。帰ってからいろいろと整理をしていたら、寝るのは1時になってしまった。この週は何やかんやで寝るのが遅くなって、睡眠不足が続いたが、この4日間で嘘のように元気に過ごせた。

【振り返って】

この4年間参加させて貰った「大村湾一周ウルトラマラソン」も遂に10回をもって幕を閉じた。終わった直後なので、まだ実感として終わったという気はしない。それはそれで時間と共に名残惜しさが現れてくるのだと思うが、誰もが参加して良かったと思わせてくれる大会だった。呼び掛けされた佐藤さんには感謝の気持ちでいっぱいだ。自腹切ってまでも参加者のために尽くしてくれた数少ない大会のひとつだと確信する。

この時期は寒いが私にとっては最も走りやすい時期なので、来年以降どうするか考えないといけない。佐藤さんは佐賀の方なので来年から「佐賀酒蔵巡りマラニック」を開催されるらしい。24時間で160km、嬉野温泉スタート・ゴールなら今までと同じパターンで参加できるかもしれない。初コースの怖さと楽しみが同居するが、楽しみである。



OHMURA BAY 2006 ULTRA MARATHON 160km



2006 大村湾一周
ウルトラマラソン160km
10th Anniversary